

年間取組検証シート

種別	内部事務改革
----	--------

No	改革名称
30	体系的資金運用

部	課
その他	会計課

現状・課題		
近年、低金利政策が継続しており、預金金利は相変わらず低いままである。この厳しい財政状況の下で、資金に関して定期預金以外の債券での運用を行い、ある程度収益を上げているが、年度により収益額のばらつきが見受けられる。		
改革内容		
債券の償還年限構成(残存年数)が等しく分散するように均等に保有し、原則として満期償還まで持ち続ける手法、ラダー(はしご)型バイアンドホールド※の運用を行う。		
基準値	目標	効果
/	体系的資金運用	債券全体として一定の満期別構成を保ちつつ、流動性を維持しながら平均的な利回りを目指すことができる。いったんラダーができあがれば、償還金は機械的にその時点の債券購入に充てればよく、実現利回りは比較的安定したものとなる。

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
年次計画	検討	運用の実施	⇒	⇒	⇒
年次実績	金融・経済情勢の把握	金融・経済情勢の把握	金融・経済情勢の把握	金融・経済情勢の把握	

平成24年度取組み内容(実績)	平成25年度取組み内容(計画)
マスメディアから金融動向・経済情勢の把握に努めるとともに、銀行、証券会社等の金融機関に詳細部分の確認に努めた。	金利について、相変わらず低金利状況が続き、債券購入については難しい状況となっている。引き続き金利動向等の把握に努めていく。
平成25年度取組み内容(実績)	平成26年度取組み内容(計画)
マスメディアから金融動向・経済情勢の把握に努めるとともに、銀行、証券会社等の金融機関に詳細部分の確認に努めた。	金利については、相変わらず低金利状況が続いており、債券購入については難しい状況となっている。引き続き金利動向等の把握に努めていく。
平成26年度取組み内容(実績)	平成27年度取組み内容(計画)
マスメディアから金融動向・経済情勢の把握に努めるとともに、銀行、証券会社等の金融機関に詳細部分の確認に努めた。	金利については、相変わらず低金利状況が続いており、債券購入については難しい状況となっている。引き続き金利動向等の把握に努めていく。
平成27年度取組み内容(実績)	平成28年度取組み内容(計画)
マスメディアから金融動向・経済情勢の把握に努めるとともに、銀行、証券会社等の金融機関に詳細部分の確認に努めた。	平成28年1月下旬に「マイナス金利」が導入され、超低金利状況のもと、資金運用はさらに難しくなっている。研修などを重ねて、安全性と効率性を考えた運用管理ができるよう、環境を整えていきたい。
5か年の取組み内容(実績)及び今後の方針	